

社協 だより

ご協力
ありがとうございました

令和7年度は、日赤社費、赤い羽根共同募金について、次のとおりご協力をいただきました。村民の皆様はじめ各区長様、連絡員の皆様には、お忙しい中ご支援ご協力をいただき心よりお礼申し上げます。



日本赤十字社
総額143,500円



国内外の災害や紛争地域被災者の救援、保健医療のため活用されています。本村でも、災害時に救援物資がすぐ届けられるよう準備されています。

赤い羽根共同募金
総額177,000円



熊本県共同募金会で集められた後に、県内各市町村の社会福祉協議会や障害者福祉施設等へ配分されています。本村では、子どもヘルパー活動等の運営資金として活用しています。

子どもヘルパーが ゴールドクラブを訪問！

6月22日(月)、産山学園4年生の子どもヘルパー7名が、山鹿地区公民館で開催されている「ゴールドクラブ」を訪問しました。

ゴールドクラブは、毎週月曜日に開催している高齢者の通いの場で、体操やレクリエーション、お茶を飲みながらの交流を通して、介護予防や健康づくりに取り組んでいます。

今回の訪問は、子どもヘルパーに任命された4年生にとって初めての活動です。最初は緊張した様子も見られましたが、自己紹介の後、ふれあい遊び、制作活動を一緒に楽しみ、会場はたくさんの笑顔に包まれました。さらに、子どもたちが元気いっぱいダンスを披露すると、大きな拍手が送られました。

参加者からは、「今日はたくさん話して笑うことができ、楽しい時間を過ごせました」「またぜひ来てほしいです」など、多くの喜びの声が寄せられました。



今年度からは、夏休みなどの長期休暇を中心に、高齢者サロンなど地域の通いの場への子どもたちの参加を呼びかけています。地域の皆さまも、お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

また、4年生から7年生の子どもヘルパーには「活動参加スタンプカード」を配布しています。サロンなどへの参加だけでなく、ごみ出しや掃除、お話し相手など、地域でのお手伝いも活動の対象です。子どもたちが訪れた際には、温かい見守りとご協力をお願いいたします。